

一般社団法人日本プライマリ・ケア連合学会
プライマリ・ケア認定薬剤師研修会
今後の医療における薬剤師への期待
(2019年7月15日 月曜日・海の日)東京開催案内

【一般社団法人日本プライマリ・ケア連合学会は日本医学会の第109分科会です。そして、プライマリ・ケア認定薬剤師制度は公益社団法人薬剤師認定制度認証機構（CPC）から「特定領域」の認定制度としての認証（認証番号P02）を取得いたしております。】

午前中は、小児薬物療法についてワークショップ形式で考え、学びます。午後は、「エビデンスに基づく漢方治療」について、厚生労働省の医薬・生活衛生局医療機器審査管理課長から、今後の医療の中での「薬剤師への期待」について講義いただきます。

（細則による必須領域： A, B, C, D, H, I, J）

要 項		
1	主 催	一般社団法人 日本プライマリ・ケア連合学会 プライマリ・ケア薬剤師認定制度委員会
2	研修期間	2019年7月15日(月)
3	研修会場	アーバンネット神田カンファレンス 2階2A 〒101-0047 東京都千代田区内神田三丁目6番2号 アーバンネット神田ビル2階 案内図 http://kanda-c.jp/access.html
4	認定単位	薬剤師:4単位(認定薬剤師単位)
5	受講資格	薬剤師
6	定員	84名(スモールグループ形式)
7	受講申込	締切り:2019年6月27日(木)午後5時 ホームページからの申込による先着順となり、定員になり次第締切ります。 電話、ファクシミリ、メールによる申込は受付けておりません。
8	受講振込	申込書を受信後、順次ご入金方法についてご案内させていただきます。 ※ 指定期日にお振込みの確認ができない方は、キャンセル扱いとなりますのでご留意願います。
9	受講料	11,000円 但し、日本プライマリ・ケア連合学会会員は9,000円 ※ 受講料入金後のキャンセル又は欠席の場合、原則として受講料の返金はできません。

申し込み先：日本プライマリ・ケア連合学会事務局担当係プライマリ・ケア認定薬剤師研修会事務局
〒550-0001 大阪府大阪市西区土佐堀1-4-8 日栄ビル703A 有限会社あゆみコーポレーション内

TEL:06-6449-7760 FAX:06-6441-2055 jpc@ayoume.jp

プログラム

2019年7月15日(月曜日)

9:00～	受付
9:20～12:30	①「子どもと薬をつなげる薬剤師の役割」 講師:豊田義貞 本プログラムでは、まず子どもの成長段階に沿った薬物動態の変化と、与薬・服薬指導について、そして各論として、例えば学童期以降にみられる起立性調節障害など比較的新しい話題を中心に解説します。また、後半のグループワークでは班ごとに異なる疾患・セッティングを提示し、参加者それぞれが普段行う、または行うべきと考える薬物治療管理について共有する場を企画しています。次世代を担う子どもらの幅広い健康管理に薬剤師が関わるうえでの一助となれば望外の幸せです。 (細則による必須領域 A,B,C,D)
12:30～13:20	昼食 (各自でご持参ください)
13:20～14:50	②「エビデンスに基づく漢方治療」 講師:新井一郎 漢方薬は、以前は、漢方的診断方法に基づき、煎じ薬での投薬がなされていましたが、近年は、西洋医学的診断に基づくエキス剤での投薬がほとんどになっています。しかし、西洋医学的に漢方薬をすることは邪道であるという方が多くおられます。今回は、近年、蓄積された漢方薬のエビデンスをご紹介しますとともに、西洋医学的に漢方薬を投薬することの是非について考えたいと思います。 (細則による必須領域 A,C,D,H)
15:00～16:30	③「薬剤師への期待 ー少子高齢化時代の役割ー」 講師:中井清人(厚生労働省医薬・生活衛生局医療機器審査管理課長) 少子高齢化が進む中、薬剤師が期待された役割を果たすためには、地域包括ケアシステムの中で主要なプレーヤーを担う必要がある。そのためには、医師等と情報共有しながら連携して、OTCも含めた一元的・継続的な薬物療法を提供することが重要である。これらを実現するために、厚生労働省では、薬剤師法、薬機法改正案を、提案しているところであり、本講演では、それら踏まえた薬剤師の役割について考察したい。 (細則による必須領域 A,C,H,I,J)

20分以上の遅刻・早退は原則単位になりませんのでご注意ください。

【講師紹介】

豊田義貞(薬剤師) (株)龍生堂本店 地域医療連携室

新井一郎 日本薬科大学 漢方薬学分野

中井清人(薬剤師) 厚生労働省 医薬・生活衛生局医療機器審査管理課